



浴衣姿で診療する歯科医師と歯科衛生士。患者が足を運びたくなる環境づくりの一策である＝金沢市内の歯科医院



待合室に設けられた託児スペース。母親らが治療中、保育士らが子供の相手をする＝金沢市内の歯科医院

浴衣姿の若い女性が小さな子供とヨーヨー釣りを楽しむ。夏祭りの会場のような光景は、ここが歯科医院であることを一瞬、忘れさせる。

金沢市荒屋1丁目の「あおば歯科クリニック」で7月30日に行われた「浴衣祭り」の一コマだ。受

付の女性職員から歯科衛生士、高橋善昭理事長ら歯科医師まで、全員が浴衣姿で診療した。この日夜に開催された北國花火金沢大会に合わせた企画で、待合室にはヨーヨー釣りのコーナーが設けられ、院内は華やいだ雰囲気包まれた。「歯医者楽しいところ、行って



法廷で戦う弁護士(写真右手)。あこがれの職業の代名詞も時代の波にさらされている＝金沢地裁

みたい場所、という印象をつくりたい」。高橋理事長は狙いを話す。

待合室の一角には全国でも珍しい託児スペースが設けられている。保育士の資格を持つ2人の専属職員が、患者が連れてきた子供たちの遊び相手を務める。子供に気を取られることなく治療に専念してもらうためのサービスである。

唇や胸元マッサージ

「これからの歯科医院はサービスの自覚を持たないといけない」と高橋理事長は強調する。唇から胸元にかけてマッサージする「デントアルエステ」やヒアルロン酸注射やプラセンタのサプリメントの使用など美顔、アンチエイジングの分野も手掛け、多様化する患者のニーズにいち早く応える体制整備に余念がない。

あおば歯科クリニックに限らず、石川、富山県内の歯科医院の多くは「痛くて怖いところ」という

歯科医院の負のイメージを払拭し、快適性を前面に打ち出そうと躍起である。その背景には歯科医院を取り巻く環境の厳しさがあった。

石川500軒、富山449軒

国内の歯科医師数は1990(平成2)年の7万4028人から2008年には9万9426人(厚生労働省医師・歯科医師・薬剤師調査)と3割近く増えている。今やコンビニの数より歯科医院が



金沢市中心部には歯科医院(☆)が密集する(グーグルマップより)

託児所、エステ、快適性競い新サービス